

全国屈指の
山城遺構



四季折々の
美しい勇姿



竹田城跡

国史跡

TAKEDA CASTLE RUINS

遺構

竹田城は、播磨・丹波・但馬の交通上の要地に築城されました。築城当初の姿はよく分かっていますが、石垣遺構周辺に存在する曲輪から判断すると、現在の本丸・天守台の存在する山頂部から三方に延びる尾根上に曲輪を連続的に配置し、堀切や堅堀で防御性を高めていたものと思われます。

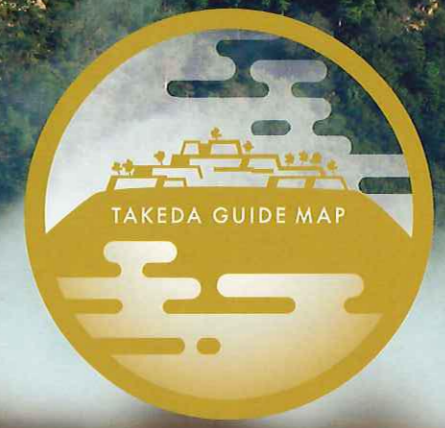
一方、織豊期以降の竹田城は、最高所の天守台（標高353・7m）をほぼ中心に置く石垣城郭となり、本丸以下南方には南二の丸、南十畳が、北方には二の丸、三の丸、北千畳を築いています。さらに天守台の北西部には、花屋敷と称する曲輪があります。ここは、主郭の中でも桐め手の位置にあたるため、南北には向かい合った石垣を築き防御性を高めています。これらの石垣遺構周辺には、多くの石取場が確認されています。大堅堀や登り石垣なども確認され、倭城の形態に類似しています。

なお、竹田城の規模は、南北約400m、東西約100mを測り、今もなお当時の威容を誇っています。

歴史

嘉吉元年（1441）、嘉吉の乱勃発後、山名氏と赤松氏に深刻な対立が生じていました。竹田城はこの時、赤松氏に対する山名氏方の最前線基地のひとつとして築城されたと伝えられています。以後、太田垣氏が7代にわたり城主となりますが、天正5年（1577）、羽柴（豊臣）秀吉の但馬攻略により、羽柴秀長が城代となりました。これ以降、竹田城は織豊方の拠点城郭として機能しました。

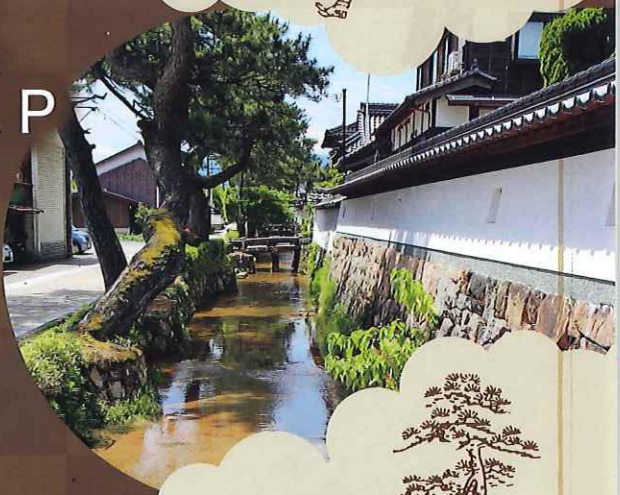
天正8年（1580）、羽柴秀長は出石・有子山城に入り、その後、竹田城は秀長の属将・桑山重晴に預けられました。さらに、天正13年（1585）、桑山重晴が紀伊和歌山城代に転じると、赤松広秀が城主となりました。



竹田散策 GUIDE MAP

A STROLL AROUND TAKEDA
[ガイドマップ]

あの雲海のベールが覆う街を散策。



立雲峡

但馬吉野

RITSUUNKYO



桜花爛漫の
景勝溪谷

海抜757メートルの朝来山中腹にあり、無数の奇石・巨岩が点在するなか、樹齢300年以上と言われる老松が自然美の妙をさわめて群生しています。開花期の長いのも特徴のひとつで、前面の竹田城跡、眼下の町なみと併せ、北近畿一番の桜の名所です。

現在は県立自然公園として整備され、一年中四季折々の美しい景色の中で竹田城跡をくわいたいただけます。



情報館天空の城
〒669-5252
たけだ城下町交流館内・朝来市和田山町竹田363
TEL:079-674-2120 FAX:079-674-0130
■開館時間:9時~17時(1月・2月は16時まで)・
休館日:12月29日~1月3日

朝来市役所 観光交流課
〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1 西館2F
TEL.079-672-4003/FAX.079-672-3220

QR Translator

竹田城跡 観覧料・期間・時間

個人 お一人様1回	期間	時間
大人(高校生以上) 500円	3月~5月	8:00~18:00 (最終登城17:30)
中学生以下 無料	6月~8月	6:00~18:00 (最終登城17:30)
団体(20人以上)お一人様1回	9月~11月	4:00~17:00 (最終登城16:30)
大人(高校生以上) 450円	12月~	10:00~14:00 (最終登城13:00)
年間パスポート 1,000円	翌年1月3日	(最終登城13:00)

※冬季の期間:観覧時間は、変更する場合があります。

立雲峡

大人(高校生以上)	300円
中学生以下	無料
団体(20人以上)大人(高校生以上)	250円
年間パスポート	1,000円

